

第1章 総 則

第1条 本会は、日本熱測定学会(The Society of Calorimetry and Thermal Analysis, Japan)と称す。以下本会と略す。

第2条 本会は事務所を東京都におく。

第2章 目的および事業

第3条 本会の目的は、熱測定(熱量測定・熱分析)およびこれと密接に関連した科学に興味をもつ研究者相互の連絡を通じ、熱測定に関する科学および技術の研究と応用を促進することにある。

第4条 本会は前条の目的達成のために以下の諸事業を行なう。

1. 熱測定討論会(Japanese Calorimetry Conference), 講演会, 講習会, 研究会その他の開催
2. 機関誌の刊行
3. 熱測定およびこれと密接に関連した分野での標準の確立, データの収集および国際的協力
4. その他目的達成に必要な事業

第3章 会 員

第5条 会員は正会員および維持会員の2種とする。

第6条 正会員は、上記本会の目的に賛同する個人で、幹事会の承認を経て第11条の会費を支払うものである。

第7条 維持会員は幹事会の承認を経て入会を承認された会社または組織体で、第11条の手続を経て、本会の維持に協力するものとする。

第8条 会員は機関誌の配布をうけ、本会の行なう事業上の便益を優先的に受けることができる。

第9条 2カ年に亘り会費を滞納した場合は、幹事会の議決を経て除籍される。

第10条 会員が退会しようとする場合は、会費未納あるときその納入のうえ幹事会の承認を経なければならない。

第4章 会 費

第11条 会員は次の種別に従い会費を納入しなければならない。

正 会 員	年 額	2,000 円
維持会員	年 額	10,000 円(1口)以上

第5章 総 会

第12条 総会は通常総会および臨時総会とする。

第13条 通常総会は、毎年1回会計年度末から3ヶ月以内に開き、臨時総会は会長が必要と認めた場合に開く。

第14条 総会は会長が招集して議長となる。必要あるときは副議長を指名することができる。

第15条 総会は開催日より5日以前に議題を付し会員に通知しなければならない。

第16条 総会は次の事項を審議する。

1. 重要な規程の制定と改廃
2. 委員の改選
3. 事業計画, 収支予算および決算に関する事項
4. 会長が必要と認めて付議した事項

第17条 総会は委任状を含め正会員総数の3/4以上の出席を以て成立する。

第18条 総会の議事は出席者の過半数を以て決する。可非同数の場合は議長の決するところによる。ただし会則の改正は第31条に定めるところによる。

第6章 委員会および幹事会

第19条 委員会は委員選挙規定により選出された約30名の委員および会長、前代会長をもって組織される。委員の任期は2年とする。ただし再任は認めるが三期連続選出は認めない。

第20条 委員会は次代会長1名、幹事8名を互選をもって選出する。

第21条 会長は本会を代表し、委員会において決定された方針にもとづき会務を統理する。

第22条 次代会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

第23条 委員会は会長が招集し、その議長は会長がつとめる。

第24条 委員会は本会の運営に関する事項および会長が付議した事項を審議する。

第25条 幹事会は会長、次代会長、前代会長および幹事をもって組織される。

第26条 幹事会は会計幹事、庶務幹事、編集幹事を選出する。

第27条 幹事会は会長が招集し、その議長は会長がつとめる。

第28条 幹事会は本会の諸事業、運営、予算、収支その他必要な事項について審議する。幹事会は上述の会則と原則的に矛盾しないような本会

の事業を正しく運営するための細則をとりきめることができる。

第29条 幹事の任期は1年とする。ただし再認は認めるが三期連続選出は認めない。

#### 第7章 会則の改正

第30条 本会の会則を改正するために全会員の1割以上の会員、または委員の3分の2以上の人数によって改正案を総会に提案することができる。

第31条 改正案はあらかじめ全会員に通知され、会則の改正は総会出席の3分の2以上の賛成によって成立する。

#### 第8章 会計年度

第32条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり翌年9月30日に終る。

#### 第9章 委員選挙規定

第33条 投票は正会員の郵便投票により正会員中より5名連記、無記名で行なう。

第34条 幹事会は推薦候補者を立てることができる。

第35条 正会員は5名以上の連名で推薦候補者を立てることができる。

付 則 この会則は昭和48年10月1日より発効する。

### 細 則

1. 幹事の職務分担：幹事は次の責任を分担し会の

運営にあたる。

1.1 会計幹事：会計幹事は会費の徴集および管理を行ない常に公開しうる出納簿を用意する。また総会において会計報告をする義務がある。

1.2 庶務幹事：庶務幹事は本会の事業の立案、運営にあたるとともに全会員の名簿を保管し、会議の記録およびその配布、保管の義務がある。

1.3 編集幹事：編集幹事は本会の機関誌、出版物の編集、発行の責任者となる。必要に応じて幹事会の議を経て編集委員会を設けることができる。

2. 幹事会は必要に応じて、学会に研究グループ、作業グループを設けることを発議することができる。

3. 熱測定討論会  
討論会は毎年1回開かれる。その目的のため実行委員会を作ることができる。次回開催地、および責任者は幹事会において決定する。

4. 委員の選挙  
幹事会は委員候補者の推薦に当って、年齢、地区、専門分野がかたよらないよう考慮する。

昭和49年度役員(48.10.1~50.9.30)

役 職	委員名	所 属	専門分野	世代	地区	役 職	委員名	所 属	専門分野	世代	地区
会 長	関 集三	阪 大	化	50	C	幹 事	菅 宏	阪 大	化	40	C
次期会長	藤代 亮一	阪 市 大	化	50	C		高木 定夫	近 畿 大	化	40	C
前期会長	神戸博太郎	東大宇航研	高分子	50	B	会計幹事	高橋 克忠	阪 府 大	生 化	30	C
	阿竹 徹	阪 大	化	20	C		高橋 浩	東大生産研	化	40	B
	石井 忠雄	北 大	化	40	A	編集幹事	高橋 洋一	東 大	化	40	B
	市原 祥次	三菱油化	高分子	30	C		武内 次夫	名 大 工	化	50	C
幹 事	岩井 津一	東 工 大	鉱 物	50	B		土屋 亮吉	金 沢 大	化	50	C
幹 事	江原 勝夫	東 工 大	高分子	30	B	幹 事	中西浩一郎	京 大	化	40	C
	大塚 良平	早 大	鉱 物	50	B	庶務幹事	中西 正城	お 茶 大	化	50	B
	影本 彰弘	阪 工 大	化	30	C		中村 茂夫	東 大	高分子	30	B
幹 事	加藤 忠蔵	早 大	化	50	B		拜田 治	川 鉄 技 研	化	20	B
	金沢 孝文	都 立 大	業	40	B		畠山 立子	織 高 研	高分子	30	B
	上出 健二	旭 化 成	高分子	30	C		服部 信	広 島 大	化	40	C
	菅野 卓治	東北大選鉱研	金 属	50	A		三田 達	東大宇航研	高分子	40	B
	草野 一仁	宮 崎 大	化	50	C		三井 清人	計 量 研	温度測定	30	B
	斎藤 安俊	秋 田 大	金 属	40	A		安田 武	武庫川女大	織 維	40	C

地区別のAは北海道、東北。Bは関東、中部。Cは近畿、中国、四国、九州。

## 「熱測定」編集方針

### 1. 形式

- 1.1 1年1巻, 4分冊とし, 一貫ページをつける。年号には西暦年号を用いる。
- 1.2 英文名は, Calorimetry and Thermal Analysis とする。
- 1.3 略称をNETSUとする。

### 2. 内容

- 2.1 本誌の構成を, 巻頭言, 総説, 講座, ノート, 資料, 論文紹介, 各種記事, 報告, 会告などとす。原著学術論文は扱わない。
- 2.2 巻頭言の内容は随意とし, 年1回, その巻の最初の号にのせる。
- 2.3 総説は, 熱測定および関連領域における種々の課題について, 参考文献などをつけて総括的に解説するもので, しかも著者の観点が明確に出ているものが望ましい。
- 2.4 講座は, 重要な基礎的知識についての講義または解説である。
- 2.5 ノートは, 研究ノート, 実験ノート, 技術ノー

トなど, 著者の行なった研究, 実験, 技術開発で, 一般読者に参考となるような事柄を具体的に紹介する。

- 2.6 資料は, 貴重なデータや技術資料, 入手しがたい論文の紹介とする。
  - 2.7 論文紹介は, 主として外国の論文の抄録の紹介とする。
  - 2.8 各種記事は, 内外の研究室の紹介, 訪門記, 著名外国人学者のプロフィール, 内外の新しい研究や技術を短く紹介するトピックス, 研究の苦心談など, 読み物的な性格のものとする。
  - 2.9 報告は, 本学会の行事, 委員会などの報告のほか, 海外の行事などについてもできるだけ取入れる。
- ### 3. 原稿の取扱い
- 3.1 原稿の採否は, 編集委員会が決定し, また書き改めを要望することもできる。
  - 3.2 原稿は下記の「執筆要領」に従って執筆するよう依頼する。
  - 3.3 依頼原稿に対しては規定の原稿料を支払う。
- ### 4. この方針は, 1974年2月1日より実施する。

## 「熱測定」執筆要領

### 1. 形式

- 1.1 原稿は, 本会所定の原稿用紙を用いる。
- 1.2 原稿の1枚目には, 題目, 著者名を記し, 脚注で著者の所属機関およびその所在地を記す。また題目, 著者名, 所属機関の公式英訳名を入れる。
- 1.3 見出し, 小見出しには, 章, 節, 項などとせず, 2・1, 2・2・1のごとく Point system とする。

### 2. 用語, 記号

- 2.1 原則として漢字は当用漢字, かなはひらがな, 文章は新かなつかいによる口語とする。
- 2.2 量記号, 単位記号などは, 原則として IUPAC の勧告(熱測定研究会刊「熱力学データの発表手続に関する指針」または, 関:「熱的データ発表のための国際規準について」"熱・温度測定と熱分析, 1971"を参照)に従う。単位系も同様であり, したがって Si 系を原則とする。本誌が熱測定学会の会誌であることを考え, とくに cal でなく, J, °K でなく K である点などに注意を払われたい。
- 2.3 熱分析用語に関しては, 原則として ICTA の勧告(ニューズレター 4, 7(1973)参照)に従う。
- 2.4 引用文献は, <sup>1), 2), 3)</sup>のごとき肩書きを通し番号とし, 本文末尾にまとめ, 次の例のごとく統一する。和文著者名はフルネーム(姓名)を書く。

- 1) L. Reich, S. S. Stivala, *Thermochimica Acta* 1, 65 (1970)
  - 2) 山田太郎; 熱測定 1, 18 (1974)
  - 3) L. G. Berg, "Differential Thermal Analysis" Vol. I, Ed. by R. C. Mackenzie, Academic Press, N. Y. (1970). p. 346.
- 2.5 文中の数式は,  $(a+x)/(b+y)$  のごとく, 独立した行で式のみ書く場合には次のごとく書く。

$$\frac{a+x}{b+y}$$

### 3. 図, 表, 写真

- 3.1 図は, 原則として掲載寸法の2倍程度の大きさに, 黒インクを用いて鮮明に書く。図は通常, 横が7cm以下に縮尺されるので, あまり複雑とならないことが望ましい。
- 3.2 図, 表, 写真の挿入位置は, 本文横に指定するだけとし, 空欄は設けない。本文中では, 図1, 表1のごとく書く。

### 4. 原稿の取扱い

- 4.1 送付先は, 〒113 東京都文京区湯島 1-5 31 第一金森ビル内 日本熱測定学会編集委員会。
- 4.2 内容が不適切である場合や, 前記執筆要領に従っていない場合は, 返却, または書き直しを求めることがある。

## 日米セミナーの開催

日米熱分析研究者の協力によるセミナーが次の通り開催された。

1974年4月8日～12日 米國オハイオ州アクロン市

主題：熱分析法による新物質の比較研究

参加者（日本側）：神戸博太郎（東大），石井忠雄

（北大），平野賢一（東北大），大塚良平（早大），

高橋洋一（東大），菅 宏（阪大），小沢丈夫（電

総研），金網久明（織高研）

（米國側）：P.D.Garn(Akron大学), E.M.

Barrall, II(IBM), H.L.Friedman(G.E.),

P.K.Gallagher(Bell), J.K.Gillham(Prince-

ton大学), W.R.Griffin(A.F.Mat.Lab.), R.S.

Porter(Massachusetts大学) E.Prosen

(NBS), R.K.Ware(Owens-Ill.)

### 第1回幹事会

昭和48年11月15日, 大阪科学技術センター・サイエンスクラブ, 出席者11名, 機関誌の基本方針を協議, 名称を「熱測定」, 英文名を「Calorimetry and Thermal Analysis」, 略称「NETSU」とする。

### 第2回幹事会

昭和49年1月17日, 学士会館, 出席者8名, 第10回熱測定討論会の日時, 場所を次のとおり決定, このための運営委員を決定した。

日 時 昭和49年11月28日, 29日, 30日

場 所 全共連ビル(東京)

運営委員 (委員長) 高橋洋一, (委員) 江原勝夫,

小沢丈夫, 菅 宏, 高橋克忠, 中村茂夫,

三田 達, 村林真行, 山内 繁

49年度の事業として1) 生物科学に関する熱測定セミナーの開催 2) 熱量測定に関する講習会を開催することを決定した。

### 「熱測定」編集委員

高橋洋一(委員長), 小沢丈夫, 大塚良平, 三田 達

会員動静(昭和48年11月1日～49年1月17日)

入会者

(正会員) 塩川二郎, 竹田彦太郎, 結城康夫, 五百蔵弘

典, 吉田 隆, 赤星亮一, 山本英脩, 西本幸雄,

十時 稔, 沢田和弘, 阿部嘉宜, 天谷和夫, 円谷和

雄, 二宮利男, 関根幸弘, 小出 宏, 宮坂啓象

(維持会員) イトカエンジニアリング㈱, 住友化学工業

㈱東京支社, 鐘淵化学工業㈱中央研究所

退会者

(正会員) 増子豊忠, 谷沢正明, 馬場四郎, 中村愛彦,

浜中恒寧, 小迫武之, 小笠原利近, 小柴淳治,

水野正雄, 影山光太郎, 長南正人, 岡村圭造

(維持会員) 横河ヒューレットパッカード㈱, 山里産業

㈱

正会員 625名, 維持会員 52社

熱測定 Vol. 1, No. 1～2, 1974

昭和49年4月10日印刷

昭和49年4月25日発行

編集兼発行人 日本熱測定学会

〒113 東京都文京区湯島1-5-31

第一金森ビル 電03-815-3988